



「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に貢献
 できる生徒の育成
 ○自ら学ぶ ○思いやる
 ○体を鍛える

令和元年度 第23回体育祭(5/25)

文責 竹田 圭志



団長の「思い」が伝わる選手宣誓



心を一つに!! 「長縄跳び」



練習の成果 「台風の目リレー」

令和になって初めての体育祭が終了しました。早朝から、多数の保護者の皆様や地域の皆様においでいただきありがとうございました。また、多数のご来賓の皆様も早朝より激励に駆けつけてくださいました。心より御礼申し上げます。

最終的な結果は、3点差という大接戦で青団が優勝、赤団が準優勝でした。どちらの団も持てる力を最大限に発揮して堂々と戦い抜きました。応援合戦も、各団のユニークな構成でとても楽しいものでした。両団に拍手を送りたいと思います。

体育祭当日に向け、本校は、全学年が単級ですのでクラスを分断して赤・青各団に分けます。授業も給食も一緒でありながら、体育祭の練習になると敵味方に分かれなければなりません。教職員もいずれかの団に分かれます。小学校時代からの流れで生徒たちは慣れているようですが、初めての先生方、特に担任の先生にとっては簡単に割り切れないものがあります。今年度から本校に来られた吉本先生、沼倉先生にとっては、かなり複雑な心境だったのではないのでしょうか。当然ですが、団分けした当初は生徒も教職員もまだまだまとまりがなく、機械的に分かれた単なる赤グループ、青グループでした。

練習が本格化してから、徐々に雰囲気が変わってきました。応援団長や副団長を中心とした3年生が、力強いリーダーシップを発揮して1・2年生の副団長をミドルリーダーに育て、組織的にチームづくりを進めました。もちろん、簡単なことではありません、「汗と涙の取組」だったはずですが。中学校生活最後の体育祭という3年生の思いを1・2年生も共感して、「勝利」という共通の目標に向かって一致団結しました。たった数日で、見違えるほど団体種目の精度が上がっていきま



「どんだけ〜」「T!」青団



「えっさ、えっさ、えっさっさ」赤団



うおりゃ〜！ 動かん「綱引き」



ホントに繋いでるの？「三人四脚」



バトンパスが勝敗を左右「400mR」

当日は、その成果を思う存分発揮してくれたと思います。もしかしたら、練習の時のほうが上手くいったということもあったかもしれません。でも、本気で取り組んできたからこそ、本気で悔しがれる自分に出会えたのではないのでしょうか。

委員長をリーダーとした実行委員の皆さんも、選手選考や団体種目の組み合わせ、リレーの順番決め、会場準備など、縁の下の力持ちとして体育祭を支えてくれました。ありがとうございました。

「汗と涙 努力の証 ～絆の絆は無限大～」2年生が考えてくれたスローガンです。私は、開会式で、「涙が出るほど嬉しい、涙が出るほど悔しい、終わった時、そんな体験ができたと思える体育祭にしてください。」と話しました。閉会式で、「涙が出るほど嬉しかった、悔しかったという体験ができた人は、拍手でその気持ちを表してください。」とお願いしたところ、生徒たちから大きな拍手がわき上がりました。そして、体育祭を通して上級生と下級生、学校・家庭・地域・・・素晴らしい「絆」が生まれました。この絆を更に日常の学校生活でも生かし、つなげていってほしいと思います。この絆が「無限大」になるかは、これからの皆さん次第です。



学校朝会で実行委員長、団長に感謝状をお渡ししました。(5/31)

早朝から子供たちの弁当をつくってくださり、5月とは思えない暑さの中、最後の解団式まで声援や拍手を送ってくださった保護者の皆様に心より感謝申し上げます。卒業生も大勢声援に駆けつけてくれました。ありがとうございました。



保護者・地域の皆様大勢参加ありがとうございました。(玉入れ)



優勝の青団 おめでとう！



準優勝の赤団 健闘に拍手！

北方領土現地研修視察参加者決まる

以前、参加の募集をご案内した北方領土視察の樺台中代表2名が決まりました。1年生男子と、2年生女子です。

2人は、7月29日(月)～8月1日(木)、3泊4日で北海道根室市を中心とした北方領土隣接地域で北方領土を視察し、元島民の体験談を聞いたり地元の中学生と交流したりして研修を深めます。2学期以降、機会がありましたら、その体験話を聞かせてもらいたいと考えています。



体育祭練習で参加決定の報告

キ リ ト リ

【校長への通信欄】 5 / 3 1 ()